

大栄翔初優勝 剣翔も十両優勝 追手風部屋が制覇

コロナ禍に感動をありがとう

27歳平幕 「夢のよう」

大相撲初場所
突き押しスタイル貫き 埼玉出身力士初の快挙



大相撲初場所は、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が発令された中、24日、東京・両国国技館で千秋楽を迎え、西前頭筆頭で元関脇の大栄翔(本名・高西勇人、追手風部屋)が、自慢の突き出しで隠岐の海を圧倒し、13勝2敗で初優勝を飾った。あわせて三賞でも殊勲賞と技能賞をダブル受賞した。

鬼瓦のような大栄翔の表情が、少しだけ緩んだように見えた。優勝賜杯を手にした時の印象を問われた時だった。「あんなに重いものとは思ってなくて、びっくりした」。入門9年目にして夢をつかみ「自分の相撲を取り切った。うれしさしかない。夢のよう。言葉に言い表せない」と感慨に浸った。

剣翔も十両優勝決定
十両の剣翔は、対戦相手の勢が休場し、不戦勝で十両優勝した。部屋を出る前に知らされたそうで「複雑。おかしな気持ちだけどうれしい」と苦笑いした。剣翔は「十両優勝とは格が違うけど、大栄翔関の存在はすごく刺激になっている」と声を弾ませた。

やすらぎ園は追手風部屋の力士さん達を応援しています



大奄美 剣翔 大栄翔 翔猿 大翔鵬

大栄翔関の三役昇進をお祝いで。(令和元年)

理事長、園長と記念撮影。

追手風部屋 in やすらぎ園もちつき大会

昨年はコロナ禍のため残念ながら中止でしたが毎年大栄翔関をはじめ、追手風部屋の力士の皆さんに当園のイベントをお手伝い頂いています。



追手風部屋の力士さんたちを囲んで記念撮影 (令和元年)



さすがのパワー「大栄翔関」

元気いっぱい「剣翔関」